



デジタル映像信号の直列インターフェースにおける
補助信号領域へのAES／EBUオーディオの多重方法

技 術 資 料

ARIB TECHNICAL REPORT

BTA F-1002 1.0版

平成 7年 4月 策 定

社団法人 電 波 産 業 会

Association of Radio Industries and Businesses

目 次

[本文]		
1	目 的	1
2	適用範囲	1
3	用語の定義	2
4	データ構造	4
	4.1 オーディオデータの構造	4
	4.2 付加データの構造	5
	4.3 オーディオコントロールデータ	6
	4.3.1 オーディオフレームナンバー (A F n-n) の構造	6
	4.3.2 サンプリング周波数 (R A T E) の構造	6
	4.3.3 アクティブチャンネル (A C T) の構造	7
	4.3.4 ディレイ (D E L x n) の構造	8
	4.3.5 リザーブ (R S R V) の構造	8
5	パケット構造	9
	5.1 オーディオデータパケットの構造	9
	5.2 付加データパケットの構造	9
	5.3 オーディオコントロールパケットの構造	10
6	多重	11
	6.1 多重可能領域	11
	6.2 オーディオデータパケットの多重	11
	6.3 付加データパケットの多重	14
	6.4 オーディオコントロールパケットの多重	14
7	実施年月	14
[解説]		
A 1	審議経過	15
A 2	本技術資料の概要	15
A 3	補助信号パケットの種類	16
A 4	補助信号パケットの生成の過程	16
A 5	本文内容の説明	18
A 6	補助信号パケットの多重	21
A 7	レベルについて	23
A 8	バッファについて	25
A 9	映像とオーディオ間の相対遅延時間差について	26
[引用規格]		28
[付記]		29